

第22回 東京支部回生代表世話人会 議事録

日時：2020年7月11日(土) 15時～17時45分

場所：WEB会議

参加：会議44名 懇親会40名スタートで漸減(司会：原田副支部長26)

1. 支部長挨拶(小田支部長19)

- 東京支部長として2期6年が経過した。かねて体制の若返りを考えており今回、新体制を提案する。今期をもって、小田は支部長を、安部政信氏(20回生)は長年勤めた副支部長を退任するが、引き続き本部の理事は務める。
- 次期支部長候補として栗木康幸氏(21回生)、副支部長候補として坂本格氏(30回生)、飯沼良介氏((36回生)を推薦。両氏は評議員も兼任。渡辺望稔氏(8回生)の逝去により欠員になっている顧問に小田が就任してこれからの新体制を支えたい。
- 上記を提案し、承認された。10/10の東京支部WEB総会に諮る。
- 今回のコロナ禍で母校の予定外の出費への寄付として、東京支部と福岡支部独自に母校に寄付する件については、繰越金の中から寄付することを検討中。金額については福岡支部と足並みを揃えることとし、金額については支部長に一任をお願いし、承認された。

2. 次期支部長候補挨拶(栗木次期支部長21)

- 附設を卒業後同窓会にはあまり深い関心を持たずに過ごしていましたが、20年近く前に渡辺さん、長縄さんに呼び出されて、2・3年先に支部総会の幹事学年だから同期を集めて準備を始めるように言われたのが最初だったような気がします。少ないついで声をかけたところすぐに10名ほどが集まりましたが、みんな以前から親交を続けていたことが分かりあらためて附設の絆の強さを認識した。
- その後も国内・海の単身赴任生活もあり支部総会などのイベント参加も皆勤とは程遠い状態でしたが、故川嶋会長御逝去の後高橋会長からのご指名で副会長として参加させていただいた。その中で何らかの課題や案件が持ちあがる度に皆さまがものすごいスピードと量のメールを交わしながら結論を得ていくさまをみて、歴代の役員の方々の熱意と同窓生の関心の高さで我が附設同窓会の発展がなされてきたのだなと心から思った。
- まだまだ経験が浅く支部長の任は大役ですが、皆さまのお助けをいただきながら精一杯務める所存ですのでよろしく願います。

3. 同窓会会長挨拶(高橋会長19)

- 東京支部はコロナ禍の影響で総会がWeb総会になるなど大きな影響を受けている。本部も定期総会ははじめ様々な行事が停滞している状況である。特に今年度は本部役員改選期でもあり対応を検討しているところである。
- コロナ禍対応で大変なのは、むしろ母校である。同窓会の目的の一つは「母校の発展を図ること」。出来るだけの支援をしたいと考えている。現段階では母校からの要請に応じ、当面の支援として臨時スクールバス費用とトイレ清掃消毒費用、合わせて400万円ほどを「教育振興基金」から使っている。
*教育振興基金は同窓会、後援会、有志からの寄付で成立しており附設の教育環境整備などを目的に使うことになっている。
- 是非、附設高校のHPを見ていただき母校が行なっている難局への対応を知って欲しい。また、皆様には「税制上の優遇」もある教育振興基金への寄付も積極的に行なっていただきたい。

4. 本年度の同窓会行事について(中村和徳副会長27)

- (正式には、来週18日正副会長会議で決定する予定だが、)
- コロナ感染拡大防止徹底の下、理事評議員会を9月開催予定で進めている。
- 詳細は添付資料参照

5. 2020年度広告募集について(中村和徳副会長27)

- 福岡支部、東京支部の内容も含めて同窓会報を12月頃発行する予定
- 広告募集は8月頃からスタート。
- 幹事学年31回生&37回生(来年度は、32回生&38回生へ引継)
- 詳細は添付資料参照

6. 回生毎の宛名不明者リストについて(中村和徳副会長27)

- 4月に回生ごとの宛先不明者リストを配布し、回生代表世話人中心に整備していただいている。
- 同窓会事務局やWEB名簿への問い合わせも多く、大変感謝している。
- 地道な活動だが、引き続き宜しく願いたい。

7. 2020年度東京支部総会の進捗状況（丸山幹事長 37）

- 本年10月10日（土）に予定していた東京支部総会・懇親会は、新型コロナウイルスによる昨今の社会情勢、参加者・関係者の皆さまの健康・安全に配慮し、東京支部役員・幹事団で協議の結果、リアルでの開催を中止する旨、5/29日に支部の意向を固め、同日、同窓会本部高橋会長に報告、了承され、中止が決定した。
- 総会は、決議・報告事項等があるため、10月10日にWEBで開催する。今後、準備を進めていく。
- 同窓会ホームページには、近日中に10月総会・懇親会中止のお知らせを掲載予定。
- 7月の福岡総会、10月の東京総会ともにコロナで中止という残念な結果となったが、例年行っている冊子への広告掲載依頼は、今年は母校支援依頼の色彩を強く出し、福岡支部の31回生幹事団の先輩方と連携し、8月以降に募集活動を行う予定。ぜひご協力をお願いしたい。
- 冊子は本部から発行される同窓会報1誌のみとなるため、広告料は少し引き下げる予定だが、例年との差額は、ぜひ振興基金を通じて、コロナ禍で様々な負担を強いられている学校側に寄付頂けるようにご案内予定。
- 例年8月発行の同窓会報は、今年はコロナで広告活動をこれから始めることもあり、12月発行予定。
- 37回生幹事団のこれまでの活動としては、2020年度は附設高校創立70周年ということで、「70周年」及び「校歌」を軸に冊子やイベントの企画を進めていた。冊子原稿は、12月発行の同窓会報に掲載頂く予定。
- 10月懇親会のイベントとして、現役の附設高校合唱部員に、70年前に作曲されたものの殆ど歌われることが無かった初代校歌と、現在まで続く二代目校歌の作曲者である藪文人氏の教え子だった作曲家、田村徹氏の編曲による混声三部合唱の校歌を演奏してもらい、大手町サンケイプラザで動画を放映する予定だった。
- 10月懇親会は中止となったが、附設高校合唱部員による演奏自体は、8月2日午後に久留米の石橋文化ホールで、保護者や教員など、附設関係者のみを対象としたサマーコンサートを開催する旨、合唱部顧問の兼行先生からご連絡を頂いている。

8. 附設塾について（日高副支部長 29）

- コロナの影響で4月、7月の開催は見送り
- 10月予定については、オンライン開催の可能性について事務局にて検討したい。

9. 思考廻廊について（坂本次期副支部長 30）

- 建築設計にかかわるものとして、60周年の新校舎建設のご縁もあり、それを機に始められた思考廻廊のコンセプト、これも良きご縁として、未来の卒業生に発展的に引き継いでいけるようにしていきたいと思っております。
- パネル未作成の卒業回生の方々への周知を、新体育館の建設への同窓会の協力と合わせて行っていきたい。

創立75周年記念事業の一環として（飯沼次期副支部長 36）

- 今後諸先輩方のご指導を頂きながら、現状を把握し75周年時に改めて思考廻廊不参加もしくは未参加の学年をしっかりとフォローしていく。

10. 新人歓迎会と就職セミナー（大津副支部長 51）

【学生対応全般】

- 現役学生数名とオンラインや電話を活用し会話。皆、コロナ禍でも忙しく大学生活を送っている。親御さんのサポートもあり、私が話した学生数名では特に困った様子はなかった。
- （外に出られず辛い、大学で友達ができるか不安など些細なものがありました）

【新人歓迎会】

- 例年6月に実施しているが、本年度は中止。代替案は検討中。

【就職セミナー】

- 第二回は中止。
- その後、新たな面接方式に事務局としても対応できておらず、学生を放置してしまった。
- その結果、問題なく内定を得るであろうと思っていた学生から苦戦している旨連絡が入り、オンライン会議を活用し個別サポートをしている。
- 個別サポートは学生からの評判もよく、来年以降も是非取り入れたい。
- また、附設ファミリーの学生からも支援の要請が来たため、対応している。

11. ゴルフコンペ延期&次回案内（浅枝副支部長 47）

- 次回は2020年11月7日の開催を予定していたが、現在のコロナの状況に鑑み残念ながら中止決定とする。
- （開催是非の判断を遅らせる方法やパーティー無しの開催等検討したが、現実的に厳しいとの判断に至った。）
- 次回は2021年5月頃の開催を予定し、数か月前のコロナの状況を踏まえて開催是非について検討する。
- 次回幹事は砂場様（21回生）と田中様（34回生）の予定だったが、コロナの影響で2回に渡り延期対応にご尽力頂いたため今回で幹事は交代とし、前回開催時の2位とBBの一つ上位の方ということで、内藤憲一郎様（34回生）と篠原彰考様（25回生）のお2人にご対応頂くこととなった。

12. その他

12-1. 有薫ゴルフコンペについて（高尾野副支部長）

→7月26日に懇親会なしで予定通り開催されます。

12-2. 母校の校歌について（宮本博幸 17）

→校歌には最近まで拍子が書かれていなかった。3/4拍子だが自分はむしろ6/8拍子だと思う。

3拍子の校歌は少ない。母校の合唱部が録音するとのことだが音楽監督によろしく伝えて欲しい。

→色々な給付金があるが、これを母校支援に活用してはどうか。

12-3. 水田 章氏（28回生）への支援について（高木裕康 28）（古賀定雄 28）

→ご協力いただいたおかげで、募金がかなりの額集まりました。

追って、区切りの良いところで、ご報告します。（添付書類参照）

12-4. 霞が関等芙蓉会の活動状況について（上羅 豪 27）

→令和2年度も国土交通省に新人職員が入り、5月現在、会員数はOBを含め130名。4月予定の総会は延期。多くの会員は、コロナ対応や予算関係に従事。

→7月は人事異動期を迎えるため、各省連絡体制が維持できるよう世話人の引継や名簿整理を依頼したところ。

12-5. 今回の九州豪雨の被害について（勝連 治 33）

→WEB会議参加者に対し、久留米および周辺地域での被害の情報をお持ちであれば共有願いたい旨の発言をするも、特段の情報提供は無かった。

以上（文責：高尾野 35）